

シリーズ 下水道探訪

東京の足元を流れる下水道は、様々な顔を持っています。
ここでは、下水道に関するいろいろな施設等をシリーズでご案内しています。

今回は、東京港の南側に位置する森ヶ崎水再生センターと水処理の過程から発生する汚泥を処理している南部スラッジプラントの空撮写真を掲載します。



▲ 森ヶ崎水再生センターは東西二つの施設と、汚泥処理を行う南部スラッジプラントからなっており、わが国では最大規模の水再生センターです。



▲ 森ヶ崎水再生センターは運河を挟み東西に分かれています。



▲ 南部スラッジプラント



▲ 多摩川下流域 : 左下に川崎競馬練習馬場、東京湾口に東京国際空港(羽田空港)を望む。



◀ 森ヶ崎水再生センターの屋上では、絶滅危惧種の渡り鳥コアジサシの営巣が春から夏にかけて見られます。

コアジサシはバーチャル下水道のキャラクターにもなっています。

バーチャル下水道を体験しよう！

ここをチェック ⇒



URL: <http://www.gesui.metro.tokyo.jp/vrgame/caution.htm>



◆点検ロボット“パトモール”

森ヶ崎水再生センターと南部スラッジプラントを連絡するトンネル施設内は、巡視点検作業自走点検ロボット(パトモール)を走らせ遠隔監視をしています。このロボットは人間の五感に相当する機能を備えており、情報を中央監視室へ伝送しています。

▲ [一覧へ戻る](#)